

=====

◇植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン vol.113◇

2019年12月13日号(第113号)

=====

――◇◆ INDEX ◆◇――

1. 第36回資源植物科学シンポジウム及び第12回植物ストレス科学研究シンポジウムのご案内
2. 令和2年度 岡山大学資源植物科学研究所 共同研究課題募集のおしらせ
3. 当研究所の馬教授, 山地准教授が2019年版の「世界で最も影響力のある科学者」に選出
4. 大学院入学説明・相談会のご案内
5. 共同研究(者)紹介 =第57回(連載)=
6. 最近の研究成果について
7. 編集後記

――◆◇◆◇――

1. 第36回資源植物科学シンポジウム及び第12回植物ストレス科学研究シンポジウムのご案内

当研究所では, 下記の要領で第36回資源植物科学シンポジウム・第12回植物ストレス科学研究シンポジウムを開催します.

開催日時: 2020年3月2日(月)-3日(火)

開催場所: 倉敷市芸文館アイシアター

今回のテーマは「SDGsの実現にむけて」です.

2020年2月20日までに参加登録をお願いいたします(参加無料).

詳しくは下記のページをご覧ください.

<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/sympo/sympostress2020/index.html>

皆様のご参加をお待ちしています.

【お問い合わせ先】

岡山大学資源植物科学研究所 馬 建鋒

TEL: (086) 434-1209 E-mail: maj@okayama-u.ac.jp

2. 令和2年度資源植物科学研究所共同研究課題募集のお知らせ

岡山大学資源植物科学研究所では, 共同利用・共同研究拠点「植物

遺伝資源・ストレス科学研究拠点」の事業としまして、令和2年度の共同研究課題を公募いたします。

○公募テーマ

植物の遺伝資源または植物のストレス科学等に関する共同研究を募集します。

具体例は以下の通りです。

- ・植物遺伝資源の評価と利用に関する研究
- ・ストレス耐性植物などの創出と利用に関する研究
- ・植物のストレス耐性またはストレス応答に関する研究
- ・植物の生物間相互作用に関する研究
- ・次世代作物の開発に関するフィールド統合科学を取り入れた研究（エコフィジオロジー研究，作物イノベーション研究，作物デザイン研究）

○公募区分

A. 重点研究枠：植物遺伝資源・ストレス科学研究の飛躍的な発展が期待される課題

（上限額 75 万円/年・件，原則 1 年間〔2 件程度〕）

B. 若手奨励研究枠：若手限定の研究課題

（上限額 45 万円/年・件，原則 39 歳以下〔5 件程度〕）

C. 一般研究枠：従来と同じ

（上限額 30 万円/年・件〔40-50 件程度〕）

※なお、研究代表者と課題名を H31 年度採択課題から変更しない場合は、公募区分にかかわらず「継続」として申請ください。

○研究期間

令和2年4月1日-令和3年3月31日

○申請書等提出期限（e-mail）

A. 重点研究 および B. 若手奨励研究：令和元年12月13日（金）（必着）

C. 一般研究：令和2年1月10日（金）（必着）

※A. 重点研究 および B. 若手奨励研究 で1次審査を通過しなかった場合はC. 一般研究への申請が可能です。

詳細は資源植物科学研究所ホームページをご覧ください。

<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/collaboration/collaboration1.html>

【お問い合わせ先】

岡山大学資源植物科学研究所 共同研究担当

TEL：（086）434-1247

3. 当研究所の馬教授，山地准教授が2019年版の「世界で最も影響力のある科学者」に選出

Clarivate Analytics 社（旧トムソン・ロイターIP&Science）が発表した高被引用論文著者リスト（Highly Cited Researchers）2019年版において、当研究所植物ストレス学グループの馬建鋒教授と山地直樹准教授が選出されました。馬教授，山地准教授は、植物の生

育に不可欠な各種ミネラルの輸送メカニズムを数多く解明し「植物・動物学/ Plant & Animal Science」分野において世界で最も影響力のある科学者として、国際的に高く評価されました。馬建鋒教授は2015年版から5年連続、山地直樹准教授は4回目の受賞の快挙です。

詳しくは以下のホームページをご覧ください。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix_id533.html

4. 大学院入学説明・相談会のご案内

植物研では2ヶ月に1度、「大学院進学説明会」を開催しています。次回は2020年1月10日(金)13:00-17:00に開催します。

対象は大学等の学部1年生以上の方です(社会人を含みます)。遠方からの来所の際には、倉敷ゲストハウスが1泊3,000円からご利用可能です(時期によっては部屋に空きがない場合があります)。事前にご連絡を頂ければ、情報をお伝えできます。当日飛び込みでの参加も歓迎致します。

植物研の大学院に進学をお考えの方は、是非ご参加ください。また、興味のある方へのご周知もよろしくお願ひします。

さらに、説明会当日に都合で参加できない方のために「個別見学会コンシェルジュ」や「体験入学コンシェルジュ」なども随時開催しています。

詳細は、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/education/education4.html>

【お問い合わせ先】

岡山大学資源植物科学研究所 山本敏央

TEL: (086)434-1205 E-mail: yamamo101040@okayama-u.ac.jp

5. 共同研究(者)紹介 =第57回(連載)=

毎月ご紹介しています、拠点共同研究の研究者紹介の記事です。

今回は、京都府立大学の半田裕一先生からのご寄稿です。

「オオムギの日長反応性出穂制御の遺伝的解析」

京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 半田裕一

平成27年-平成29年の3年間、植物研の共同研究の制度を利用して最相先生と共同研究をさせていただきました。研究の方は所属を移っても、しつこく(?)取り組んでおり、何かの機会にご紹介できればと思っておりますが、今日は共同研究のなかで植物研すごいと感じたことをご紹介したいと思います。

毎年3月に「資源植物科学シンポジウム及び植物ストレス科学研究シンポジウム」というのが植物研で開催されているのをご存じでしょうか?「資源植物科学シンポジウム」の方は30回以上、「植物ストレス科学研究シンポジウム」も10回の開催があり、毎年異なるテーマ設定のもと、植物研に加え国内外から多彩な先生方を招かれて最

新の話題が提供されています。私自身は、共同研究を始める前に一度だけ参加したことがあったのですが、共同研究を始めてからは毎年参加してきました。実のところ、シンポジウム後に共同研究の報告会があるので、出ないわけにはいかないのですが、毎年出てみてとても驚きました。とにかくテーマの設定がよく、毎年出て飽きがこない、そして講演者の選定もバランスよく、毎回何かの発見がありました。

そして何よりすごいと感じたのは、こうしたシンポジウムを毎年開催し続けられる植物研の先生方の多様性と奥の深さです。自分の研究の方は思うようには進んでいないのですが、このシンポジウムを通じて植物研の底力を垣間見ることができたことは間違いなく大きな収穫でした。

多くの方が植物研シンポジウムをご存じのことと思いますが、まだご存じでない方、あるいはご存じでも参加されたことのない方は、ぜひ参加されることをお勧めします。きっと新たな共同研究の種も見つけることができると思います。

6. 最近の研究成果について

異なるタイプの正逆マッピング集団によって明らかにされたイネの葉の光合成の遺伝的構造。

Adachi, S., Yamamoto, T., Nakae, T., Yamashita, M., Uchida, M., Karimata, R., Ichihara, N., Soda, K., Ochiai, T., Ao, R., Otsuka, C., Nakano, R., Takai, T., Ikka, T., Kondo, K., Ueda, T., Ookawa, T. and Hirasawa, T.
Genetic architecture of leaf photosynthesis in rice revealed by different types of reciprocal mapping populations.
J. Exp. Bot., 70: 5131-5144 (2019)

7. 編集後記

今年も最終月になりました。

皆さんにとって今年はどうな一年だったでしょうか？

何と言っても5月に平成から令和に改元したことが、一番のニュースでしょう。消費税率が8%から10%に変更されたのも、研究費のことを考えると痛いニュースです。研究業界では、吉野先生のノーベル賞受賞が嬉しいニュースでした。日本は、今年も豪雨や台風などの災害に見舞われました。自然災害で発生する世界の被害総額の20%弱が日本が占めるのだそうです。無事に研究できる環境に感謝すべきですね。

本メールマガジンでもお知らせしていますが、来年度の当研究所の拠点共同研究課題を現在募集しております。今年から従来の一般研究枠に加えて、重点研究枠や若手奨励研究枠を新設しました。

一般研究枠でも使用できる予算額を増額しております。重点研究や若手奨励研究枠の締切が本メールマガジンの発行日なのですが、一般研究枠は来月の10日です。皆様奮ってご応募ください。

皆様，健康にご留意して良いクリスマス，良いお正月をお過ごしください。

今年も，本メールマガジンをご愛顧いただきありがとうございます。

「植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン」

■発行日 2019年12月13日

■発行元 岡山大学資源植物科学研究所

植物ストレス科学研究ネットワーク (PSSNet) 委員会

■WEB サイト <http://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/>

メールマガジン登録変更・解除の手続きは

<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/Registermember.htm>

をお願いします。

(このメールは岡山大学職員が配信しています)

pssnetml mailing list

pssnetml@okayama-u.ac.jp